



グローバルな研究推進のために

熊本大学グローバルCOEプログラム「細胞系譜制御研究の国際的人材育成ユニット」では、“多様な学術的背景、知識、技術や経験などを持つ異分野の研究者が活発に交流し、刺激し合う環境がグローバルな研究を推進させ、若手研究者の育成につながる”という考えの下、人材育成の大きな柱の一つとして国際化推進事業を積極的に進めています。

この国際化推進事業の一環として次の三つの取り組みを行っています。

国際交流事業

世界各国の大学や研究機関と合同で国際シンポジウムを開催し、大学院生や若手研究者による研究発表、ポスターセッションを行い、さまざまな研究者と議論を交わします(これまでに、アメリカ、エジプト、イギリス、アイルランド、台湾、オーストラリアの大学や研究機関と合同で開催しました)。

若手研究者の海外派遣事業

国際シンポジウムはもちろんのこと、国際学会等への若手研究者の参加を積極的に支援し、若手研究者が国際的な舞台で、研究成果の発表や国際交流を深める機会を提供しています。また、海外研究機関との共同研究推進のための海外派遣も行っています。

このような国際的な交流が、経験値として身に付き、若手研究者の育成につながるものと考えています。

海外若手研究者の招聘事業

さらに新たな取り組みとして、平成21年度には「若手研究者GCOE細胞系譜制御研究招聘プロジェクト」を実施。この事業は、海外から優秀な若手研究者を受け入れ、細胞系譜制御研究に関する国際交流を活発化し、この分野におけるグローバルな拠点形成を図ることを目的としています。

平成21年度には、本学との国際交流協定校であるスエズ運河大学(エジプト)から、博士課程の大学院生4名(3カ月2名、2週間2名)を受け入れました。

受け入れ期間中は、各分野で、細胞培養や免疫染色などの実験や、日本の若手研究者との活発なディスカッションを行うなど、短期間ではありましたが、今後のグローバルな研究推進にとって極めて有意義な成果を上げることができました。

人を育てる 「国際交流」